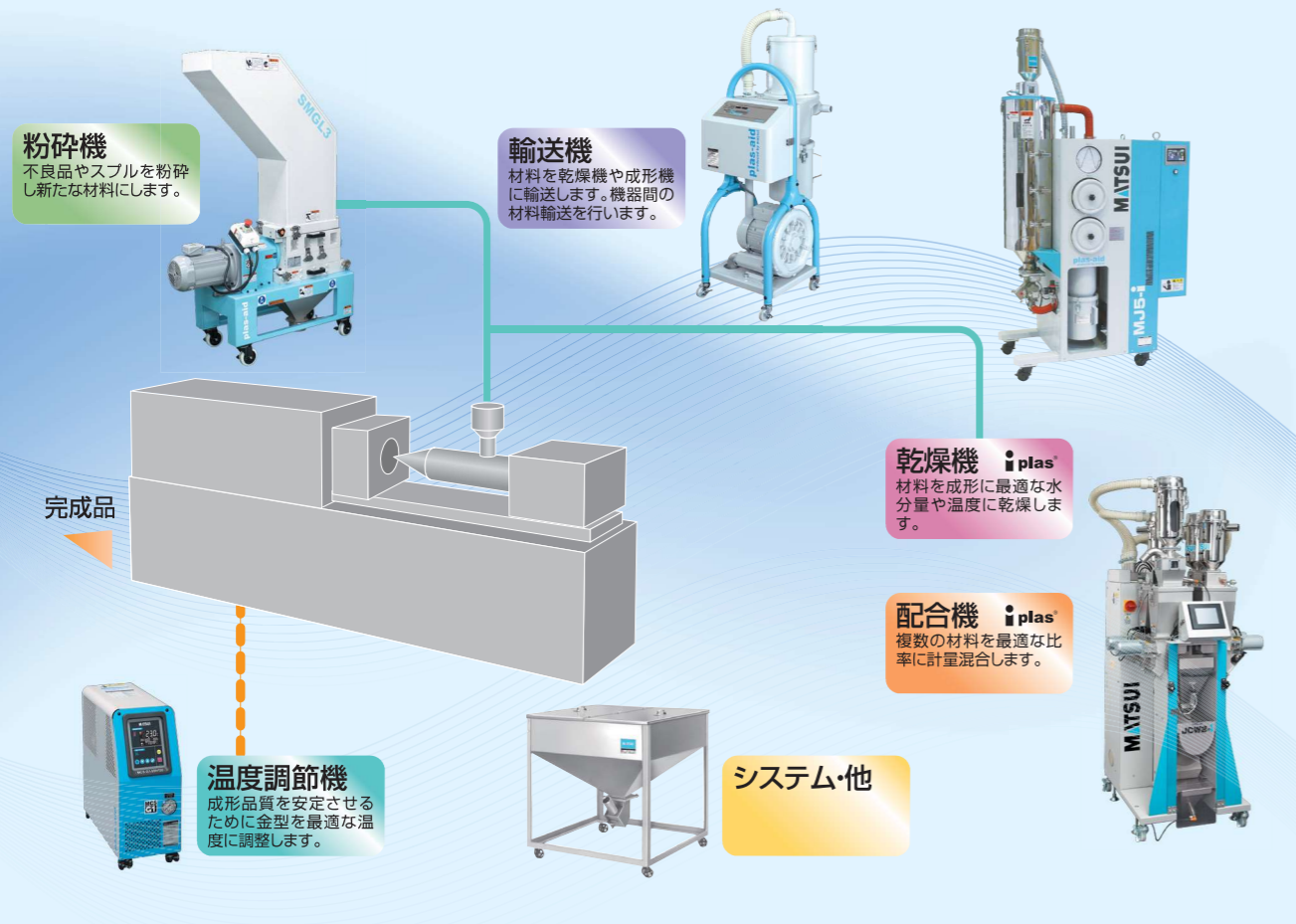




MATSUIの成形システム

プラスチック成形において、マツイは材料から完成品に至る成形工程のFA構築に必要な機器を製作しています。



弊社HP内Ecoコラムへ



成形工場における「factor4」とは？

プラスチック成形に必要な材料や水、エネルギーのコストを半分に削減し、なおかつ、生産量の増大と製品の付加価値の向上により、企業の豊かさを2倍にする。

その取り組みが、この地球の豊かさにもつながっていく。松井製作所は、そのための具体的なソリューションの提案を行っています。

水周りのソリューション ecobridの納入実績

配管や熱交換器に付着したスケール

が工場全体の効率をおとしていませんか？

ecobrid(エコブリッド)で水質によるトラブルを無くします。

ecobridは、次世代型の空冷密閉式クーリングタワーです。

密閉式のため不純物の濃縮による水質トラブルの心配がありません。

更に熱交換は水を直接かけない完全空冷式仕様のため熱交換器部の洗浄や交換が不要です。

成形機200トンクラス10台を対象に使用されたクーリングタワーシステム

豊かさ **2倍** 生産量UP × 付加価値UP

消費資源 **半分** 消費資源CUT



ムをecobridに交換した場合の参考データは、年間の水使用量が3,860t節約でき、水道代+電気代は年間120万円のコスト削減になりました。(関東地区をベースとして算出)

factor4

in molding factories

「水のムダ」「樹脂のムダ」「エネルギーのムダ」を無くし成形工場の資源生産性を4倍にすることを目指します。

豊かさを“2倍”に、資源消費を“半分”に。

2011年、地球の人口は70億人を超えました。

2050年には、90億人に達していると思われています。

ものづくり業界にとって未曾有の市場が、未来に向かって開けています。

プラスチック産業にとっても、とてつもなく大きなチャンスが来ようとしています。しかし、その一方で、急激な人口の増加は、地球にかつてない危機をもたらそうとしています。

「環境」の問題です。

限りある資源やエネルギーを、これまで以上に大切に使用しなければ、人口90億人時代の産業は成り立ちません。

地球の未来を考えずして、プラスチックの未来を語ることはできません。

地球環境問題は、産業の継続的発展をめざす私たちが、必ず克服しなければならぬ問題です。

その解決のために、ひとつの指針を

与えてくれるのが「factor4」という考えです。

「産業の発展」と「地球環境の保全」。

「factor4」は、一見別々のゴールに見える2つの未来をつなぎ、私たちに、より大きな可能性を示してくれるアイデア。

プラスチック産業と地球の未来の共存・共栄を実現させるための、とても革新的かつ具体的なアイデアです。

ecobrid 工場全体の水質維持と節水・省エネルギーに貢献する空冷密閉式冷却システム

すでに全世界で納入実績**10,000社**以上

